

正誤表（「地域生活総合支援センターあい」本編資料）

該当ページ／行	当日資料	訂正後資料
<p>2 ページ</p> <p>本文 3 行目</p>	<p>1 発達障がい支援に特化した生活介護の取り組みについて</p> <p>2 <u>発達障がい者への</u>コンサルテーションについて</p>	<p>1 発達障がい支援に特化した生活介護の取り組みについて</p> <p>2 <u>事業団における</u>コンサルテーション<u>システム</u>について</p>
<p>1 4 ページ</p> <p>本文 1 行目</p>	<p style="text-align: center;">あいでも取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のコンサルテーション日に向けて、取り組みたい事を事前に<u>話し合い、有効な時間を設けた。</u> ・Aさんの様々な行動パターンについて相談<u>した。</u> ・何もしない時間をなくし、場面に変化を作る<u>ようにした。</u> ・評価セッションを使ってAさんの<u>強みや得意なことを知り、Aさんが自信をもって出来る</u>自立課題を作成<u>した。</u> ・支援の方向性が見え<u>だし</u>、他の利用者にも個別プログラムを<u>作り始めた。</u> ・Aさんに変化が見え始め、コミュニケーションの図り方を<u>探った。</u> ・発達障がいに関わる構造化の理解が進み、視覚支援に取り入れた。 	<p style="text-align: center;">あいでも取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のコンサルテーション日に向けて、取り組みたい事を事前に<u>話し合う。</u> ・Aさんの様々な行動パターンについて相談。 ・何もしない時間をなくし、場面に変化を作る。 ・評価セッションを使ってAさんの<u>適正を学び</u>、自立課題を作成。 ・支援の方向性が見え、他の利用者にも個別プログラムを<u>作成。</u> ・Aさんに変化が見え始め、コミュニケーションの図り方を<u>探る。</u> ・発達障がいに関わる構造化の理解が進み、視覚支援に取り入れた。

<p>16 ページ 本文1行目</p>	<p>見通し（構造化・視覚支援の取り組み）として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラジッションコーナーを作り、<u>散歩の活動を示すカード（名刺サイズ）に、</u>ブランコの写真を用意した。<u>写真カードには目を向けている様子はなかった。</u> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなパネルサイズでブランコの写真を用意。 手でトントンと叩いて笑顔を見せる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出発前には事前に目的地のブランコのパネルを<u>見せたり、特徴となる遊具のパネルを見てもらうことでパニックが減った。</u> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩用のリュックを用意し、毎日リュックを<u>背負う事で公園に行くことへのイメージもつき笑いながら歩く。</u> 	<p>見通し（構造化・視覚支援の取り組み）として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラジッションコーナーを作り、<u>大きなパネルサイズで</u>ブランコの写真を用意。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出発前には事前に目的地のブランコのパネルを<u>見せる。</u> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩用のリュックを用意し、毎日リュックを<u>背負ってもらう。</u>
-------------------------	--	--